

# 糸我小学校だより

令和元年11月20日



## プログラミング教育

新学習指導要領が告示され、「小学校プログラミング教育の必修化」が注目されています。和歌山県教育委員会からは、**プログラミングで目指すこと**として、次の3つが挙げられています。

- ①プログラミングを通じた課題解決の学習で「プログラミング的思考」を身に付けること。
- ②普段行っている行動や取り組みなどをプログラミングで行う命令の要素（順次処理、条件分岐、繰り返しなど）の観点で整理し、より効果的、効率的に行おうとすること。
- ③児童たちが体験を通して、自分もコンピュータを使って何かを作ることができるという“作り手”になれるという気づきを与えること。

このことを目指し、本校でも5・6年生において、担任や理科担当がプログラミングを取り入れた授業を行っています。

また、11月12日（火）には、和歌山大学の豊田充崇先生にお越しいただき、プログラミングの授業をしていただきました。まず、これから私たちが迎えるSociety5.0の社会について、動画を通してIoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）、クラウド、ドローン、自動走行車、無人ロボットなどを活用する新しい社会であることを教えていただきました。その後、直径10cmくらいのボール型ロボットを無人自動運転バスに見立て、タブレット型パソコンでスピードや動かす時間、進む方向（角度）などをプログラミングして、決められたルート上を動かすという課題に挑戦しました。子供達は、およその数値を打ち込んだり、実際にメジャーで距離を測って打ち込んだりと、試行錯誤を繰り返しながら課題をクリアする喜びを味わっていました。

今後も計画に沿って、充実したプログラミング教育を推し進めていきたいと考えています。



## 地震津波避難訓練

11月5日（火）に地震津波避難訓練を行いました。大きな地震の後に津波が来るという想定で行いました。

緊急地震速報が流れると同時に、子供達は机の下に入って身を守り、揺れが収まったという放送でグラウンドに避難しました。その後津波から身を守るために法明寺まで避難しました。

子供達は、真剣に訓練に取り組み、有田警察署の方からお褒めの言葉をいただきました。



## お礼の訪問

「田んぼの学校」での活動が無事終わったことの報告とお世話になったお礼に、5年生が有田市役所と有田振興局に、収穫したお米を持って訪問してきました。



## 授業参観・教育講演会・学級懇談会 ご出席ありがとうございました

10月31日（木）授業参観、教育講演会、学級懇談会を開催しました。たくさんの保護者の皆さんにご出席いただき、ありがとうございました。

教育講演会は、和歌山信愛大学の森下順子先生をお招きし、「みんなで子育て」～子供の豊かな育ちのために～ という演題でご講演いただきました。

現在の子育ての現状と課題や子供への関わり方などを教えていただきました。また、「子育てで頑張っていることは？」「お子さんの強みは何ですか？」などの問いかけに、保護者の皆さんが考えて答えるといった場面もありました。

保護者の皆さんからは、「子供の良い所を見つけていこうと思いました。」「これからは『失敗の経験』こそ『成長のチャンス』と見守ったり、子供達の気持ちに寄り添い、共感できるように関わっていこうと思います。」「こういう機会、ちょっと考え、見つめ直すのは、有意義なような気がします。」等の感想が寄せられました。



## 糸我小学校おはなし会

11月7日（木）3限目に、本校の図書館教育の一環である「糸我小学校おはなし会」が行われました。図書館ボランティア6名の皆さんと司書さん、教頭先生（合計8名）が読み手となり、4つの教室に分かれての絵本の読み聞かせです。子供達は事前に配布されたプログラムの中からお目当ての本を選び、それぞれの教室に行き、お話を聞きました。

子供達は、目を輝かせて、真剣に聞き入っていました。

